

## 第 2 章

### 研究の目的、研究の方法、研究計画



## 第1節 研究の目的

本研究においては、聴覚特別支援学校及び難聴特別支援学級等に在籍する軽度・中等度難聴児（者）に対して、コミュニケーション力や学力・言語力等の学習上、生活上の現状と課題を明らかにし、適切な指導、必要な支援の在り方及び保護者、関係者等への支援について検討することを目的とする。

## 第2節 研究の方法

上述した研究目的を遂行するために、本研究では（1）聴覚特別支援学校における軽度・中等度難聴児の教育的支援に関する実態調査の実施、（2）聴覚障害者情報提供施設における軽度・中等度難聴者の支援に関する調査の実施、（3）全国難聴言語障害学級及び通級による指導教室における実態調査の実施、（4）聴覚特別支援学校、難聴特別支援学級、聴覚障害者情報提供施設、療育センター訪問による資料収集、及び研究協力機関より軽度・中等度難聴児（者）の教育・療育・福祉に関わる情報や資料を提供していただいた。

なお、上記3調査の方法や手続きの詳細については、次章で述べる。

## 第3節 研究計画

### <平成22年度>

#### （1）調査1の実施

聴覚特別支援学校における軽度・中等度難聴児の教育的支援に関する実態調査

①調査目的：軽度・中等度難聴児の教育的支援に関する実態を明らかにする。

②調査時期：平成23年1月～2月

③調査方法：郵送による自記式質問紙法及び面接調査

#### （2）実地調査

聴覚特別支援学校、難聴特別支援学級、聴覚障害者情報提供施設、療育センター訪問による資料収集

#### （3）研究協議会（1回）開催

平成23年2月5日（土）

### <平成23年度>

#### （1）調査2の実施

聴覚障害者情報提供施設における軽度・中等度難聴者の支援に関する調査

①調査目的

聴覚障害者情報提供施設における軽度・中等度難聴者の教育・福祉支援に関する実態を明らかにする。

②調査時期：平成23年11月～12月

③調査方法：郵送による自記式質問紙法及び面接調査

(2) 調査3の実施

全国難聴言語障害学級及び通級による指導教室における実態調査

①調査目的

難聴言語障害学級及び通級による指導教室における軽度・中等度難聴児の教育的支援に関する実態を明らかにする。

②調査時期 平成23年7月～9月

③調査方法 郵送による自記式質問紙法（抽出）

(3) 研究協議会（3回）開催

平成23年6月4日（土）、平成23年11月26日（土）、平成24年3月3日（土）